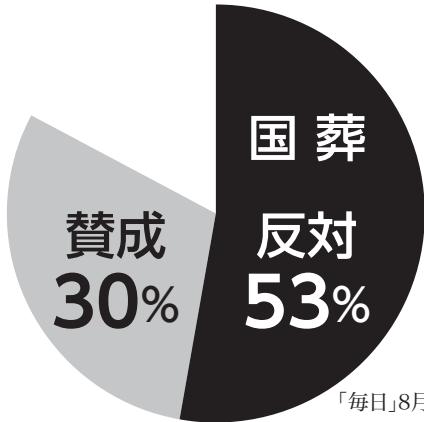


憲法違反の「国葬」



キッパリ 中止に！

岸田政権による安倍元首相の「国葬」強行に反対する世論が日々をうごとに高まっています。国民にたいして、なにひとつともな説明ができないのは、「国葬」が明白に憲法に違反しているからです。

日本共産党

「法の下の平等」「思想・良心の自由」

——憲法をふみにじることは許されない

なぜ、「国葬」なのか。「在任期間最長」というだけで、首相はまともな説明ができません。時の内閣の打算で特定の個人を特別扱いすることは、憲法14条「法の下の平等」に反します。

首相が言う「敬意と弔意を国全体であらわす」とは結局、「国民全体」に弔意を強要することです。実際、府省庁では、「国葬」当日の弔旗掲揚、葬儀中の黙とうが強要されようとしています。憲法19条「思想及び良心の自由」をふみにじるものであり、絶対許せません。

「国葬」総額 17億円近く？！

過半数こえる反対世論に逆らい血税投入

法的根拠のない「国葬」を「閣議決定」で強行することは、「法の支配」を「人の支配」に代える暴挙です。「儀式」そのものに2.5億円。警備費や接遇費など総額17億円近くを税金から支出すると政府が表明。物

価高騰とコロナ対策にはまともな対策もない一方で、国会で時間をとった議論もせずに、国民の血税を使うことなどまともな政府のやることではありません。

安保法制の強行、「森友・加計・桜」、統一協会との癒着…。「安倍政治」への「敬意」の表明を、ばく大な税金使って強要することなど許されません。日本共産党は、「国葬」強行に反対です。